

# ノンフィクション性体験レポート

Vol 5.

※サンプル版

## 【被験者】

Name:由香さん

Job: 専業主婦 (パートタイマー)

age:28

体験内容：旦那を M 夫奴隷に調教した若妻

# 目次

表紙	P.1
目次	P.2
インタビューパート①	P.3
体験告白パート:浮気した旦那のチンポを紐で縛って	P.4～9
インタビューパート②	P.10
体験告白パート:旦那様のお口におしっこを注ぐ若妻	P.11～17
インタビューパート③	P.18
体験告白パート:野外の公園で。多分この種が赤ちゃんになりました	P.19～26
インタビューパート:エピローグ	P.27

## インタビューパート①

愛の形、夫婦の形はそれぞれである。  
今回インタビューした若妻よりそれを強く認識させられた。  
勿論こんなありきたりなキレイごとだけでは、  
何言っただお前で終わりになってしまうのでどういう事なのか書いていく。

Daishirou (以下:D): こんにちは。まずは差し支えない範囲で、  
自己紹介をして頂けないでしょうか？

由香: こんにちは。本日はよろしくお願ひ致します。

名前は由香。28歳。職業は…私みたいなパートタイマーって言うんですかね？

D: イヤ僕に聞かれても(笑)。パートっていう事はご結婚されているんですか？

由香: ええ。今年で3年目になります。

D: よろしければ旦那さんとのなれそめとか教えて頂けませんか？

由香: なれそめって言ってもなあ…。

同級生で仲良くってそのまま8年位付き合っただけで流れてゴールインしただけだから、  
面白い話は何も無いですよ。

D: 私の様な人間から見ればそれは十分にうらやましい事です。

ちなみにご主人との仲はどんな感じですか？

由香: 良好でした。

D: でしたですか？

由香: うーん。今でも良好なのかな？

D: 思わせぶりの事を言いますね

由香: 旦那が浮気をしてから関係が少し変わりました。

D: ほお！また興味深い事を！

由香: 嬉しがらないでください

D: すいません。どんなドロドロな事になってるのか気になってしまいました。

由香: 分かった直後は大喧嘩をしました。でも、ドロドロはしてませんよ。

D: そうなんですか！？

由香: むしろLOVELOVEですね

D: それなのに仲は良いかどうか微妙なんですか!?!? どういう事なのか教えてください！

由香: もうそんなに興奮しないでください(笑)

## 体験告白パート：浮気した旦那のチンポを紐で縛って

旦那は不動産関係の営業の仕事をしています。  
付き合いなどで呑みに行くことも多くいつも帰りは遅いです。  
でも、そのおかげで世帯収入は歳の割には多めで生活には不自由していません。  
夢はマイホームを早く持つ事と…やっぱり子供ですね。  
私もパートに家事にといつも大忙しでした。ううん、今でも大忙しです。  
だからですかね…生活のすれ違いも徐々に増えてきて、  
顔を合わせない日も増えてきて、寂しい気持ちになる事も多くなっていました。  
そんな時ですかね。ソファに横になってスマホで、  
女性と卑猥なやり取りをしているところを偶然横目で見てしまったんです。  
それらしい言動は多くなってきていました。  
でも、まさかそんな事だと思っていましたんでショックでした。  
しばらく塞ぎ込んだあと証拠を突き付けて旦那を問い詰める事にしました。  
旦那が寝たのを確認してスマホのロックを解除しました。  
発着信履歴、画像、メール、LINE…証拠は山の様に出てきましたね。  
見つけた証拠を転送したり写メに撮ったりして保存した後は、  
声を押し殺しながらわんわん泣きましたね。  
え!?なんでスマホのロックを解除できんだ怖い…ですか？  
長い付き合いですからロックを解除している時、  
画面をどう指でなぞっているかとか嫌でも目についちやうですよ。  
それにこういう事が無い限り勝手に携帯の中身を見たりなんてする訳ないじゃないですか。  
次の日は旦那を会社に送り出してから弁護士ですとか、離婚届の用意ですとか  
日中に手続きの段取りを整えました。  
それで会社から帰ってきてゴロゴロしている旦那に全部突き付けたんです。  
「お前なんだよコレ！人の携帯勝手に見て最低だな！」  
「最低なのはアンタでしょ！隠れて会社の娘と浮気して！」  
「うるせえよ！盗み見して逆切れかよ！」  
「誰がどう見ても逆切れしてんのはアンタでしょ！もう離婚して！」  
「ああしてやるよ！お前みたいな女こっちから願い下げだ！」  
こんな怒鳴り合いを3時間くらいして別々の場所で寝ました。  
怒りも強かったですがそれ以上に悲しかったです。  
素直に謝ってくれたら許そうかと思っていましたから…。  
次の日の朝はお互い顔を合わせませんでした。  
日中はずっとすさんだ重い気持ちでした。

夕方、旦那は返って来るなり玄関で土下座しました。

「申し訳ない。出来心だったんだ！相手とは今日きっちりと別れ話をしてきた！もう二度とこんな事はしない。だから頼む今回だけは馬鹿な俺を許してくれ！」

色んな事が頭の中を駆け巡り、色んな感情で心は埋め尽くされました。

「どうして昨日ちゃんと謝ってくれなかったのよ！」

「すまん。売り言葉に買い言葉になってしまって…」

でも心の中じゃずっと申し訳ないって思ってたんだ」

「なに都合の良い事言ってんのよ！慰謝料払ったりとかが嫌なだけでしょ！？」

「違う！お前の事が好きだから別れたくないんだ！本当だ！」

旦那の言葉からは嘘と我が身の取り繕いしか感じる事が出来ませんでした。

ここで怒りをぶちまけて別れる…それだけではとても気持ちが治まりませんでした。

「…分かったわ。頭を上げて。ねえ仲直りの印に今夜は一緒に寝て欲しいんだけど大丈夫？」

「も、勿論大丈夫だよ。ありがとう！ありがとう！」

夕食には精がつくものばかりを出し、お風呂に入りベッドに向かいました。

「遅かったね」

「ええ、久しぶりだから色々と用意がいったの…スッゴイ元気ね」

旦那の股の間に私は座り込みました。

「アハハ。やっぱり慣れて愛した女が一番…」

下品な言葉です。軽蔑の感情を押し殺しながら笑顔で、旦那のモノを手で優しくなぞります。

「…いつもより固くなってる」

「お前が精のつくモノをいっぱい食べさせてくれたおかげだよ」

「…そう、ありがと」

持てる限りの力を全て込めて竿を潰す様に握りしめました。

「ちょ、痛！そんなに強く握らないでくれ！嬉しいのは分かるけどもう少し落ち着いて…」

「嬉しいですって…ふざけないで。散々身勝手な事ばかり言っというて…」

ベッドの近くに置いたタコ紐を、力いっぱい締め上げる様に竿に巻き付けて堅結びに結びます。

「痛てえ！てめえいい加減にしろよ！」

旦那は声を荒げながら私の手をチンチンから払いのけようとしてきました。

「私に暴力を振るうの？是非お願い。

部屋に隠しカメラを仕掛けたの。今録画してるわ。

DVに苦しんでる良い証拠が出来るわ」

隠しカメラなんて仕掛けていません。

あんな嘘がよく言えた物だと我ながら今になって関心します。

「…お前頭おかしいんじゃないの？」

「そうさせたのはアンタでしょ。…気持ちよくなりたいでしょ？」

「良いわ。たっぷり気持ちよくしてあげる」

旦那のモノを付け根まで一気に啜え込みました。

じゅるじゅる～ッじゅるじゅる～ッ

頬と唇できつく締め付けながらカリ裏に優しく舌を絡めていきます。

「うわッ！ちょっいきなり…」

おしっこが出るのを舐めるなんて汚いじゃないですか。

だからフェラチオって嫌いだったんですよ。

けども舐めると喜んでくれたんで我慢して舐めてたんです。

だからフェラテクはそれなりに上達しました。

でも、上手になればなるほど元々嫌いなんではしゃぶる時は手抜きをしていましたね。

特にここ最近は酷かったと思います（笑）

でもこの時はスゴイ気合を入れて舐めましたね。

じゅるじゅるという唾液が擦れ合う音が口の中で大きく響きました。

こんな事は始めてした。本当にこういう音が出るんだと驚きながら舐め続けました。

かも知れない。